



平成27年5月8日

各 位

上場会社名 タカセ株式会社
 代表者 代表取締役社長 大宮司 典夫
 (コード番号 9087)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 鳥津 和人
 (TEL 03-3571-9497)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年11月7日に公表した平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,300	65	80	35	3.51
今回修正予想(B)	9,480	50	65	25	2.51
増減額(B-A)	180	△15	△15	△10	
増減率(%)	1.9	△23.1	△18.8	△28.6	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	9,051	10	18	△31	△3.11

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,300	45	55	20	2.00
今回修正予想(B)	8,220	15	30	25	2.51
増減額(B-A)	△80	△30	△25	5	
増減率(%)	△1.0	△66.7	△45.5	25.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	7,951	△52	0	△28	△2.81

修正の理由

個別の通期の業績予想につきましては、営業収益は、依然として、顧客の物流コスト圧縮の要請と業者間の過当競争による収受料金の低下がみられる状況の中で、直近の公表値に対して、80百万円減(△1.0%)の82億20百万円となる見込であります。

営業利益および経常利益につきましては、営業収益の減少による影響のほか、運賃仕入れコストの値上げ、人手不足ならびに労務コストの上昇といった事業環境にある中、国内物流事業における高度な業務品質の維持・向上にともなう労務コストの削減が思うように図れなかったことにより、直近の公表値に対して、営業利益は30百万円減(△66.7%)の15百万円、経常利益は25百万円減(△45.5%)の30百万円となる見込であります。

当期純利益につきましては、下半期に投資有価証券の売却により31百万円の投資有価証券売却益を計上できたものの、法人税等の税率変更による繰延税金資産の取崩が法人税等調整額に影響したこともあり、直近の公表値に対して、5百万円増(25.0%)の25百万円となる見込であります。

連結の通期の業績予想につきましては、主に、個別の業績予想の修正要因に加え、当社グループの実運送分野を担っている国内連結子会社が、車両買替による減価償却費負担増やドライバー不足による労務コスト増加により、業績悪化を余儀なくされた一方で、海外連結子会社4社の業績が総じて、堅調であったことから、営業収益につきましては、直近の公表値に対して、1億80百万円増(1.9%)の94億80百万円となる見込であります。

また、営業利益は、直近の公表値に対して、15百万円減(△23.1%)の50百万円、経常利益は、15百万円減(△18.8%)の65百万円となる見込であります。

当期純利益につきましては、実運送分野を担っている国内連結子会社において、繰延税金資産を全額取崩したことが法人税等調整額に影響したこともあり、直近の公表値に対して、10百万円減(△28.6%)の25百万円となる見込であります。

(ご留意事項)

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提にもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上